

教 授 要 目

昭和35年度

小樽商科大学



小樽商科大学教授要目

目 次

I 学科目履修方法	1
1 昭和35年度開設科目	1
2 履修方法	3
II 教授要目	5
1 一般教育科目	5
2 外国語	11
3 体 育	16
4 専門科目	18
5 教職に関する専門科目	31

I 学科目履修方法

1. 昭和35年度の開設科目は次の通りである。

区分	学 科 目	単位	年度	担当教官	備 考	
一般 教育 科学 目	哲 学	4	Ⅱ	川村教授	開講については前以て通知する。 (東京大学教授)	
	倫 理 学	4	Ⅰ	" "		
	心 理 学	4	Ⅱ			
	文 学	日本文学	4	Ⅰ		広田助教授
		外国文学	4	Ⅱ		松尾教授
	※歴史学	2	Ⅰ.Ⅱ	大塚講師		
	日本文化史	4	Ⅰ	広田助教授		
	社会 科学	※社会科学概論	2	Ⅰ.Ⅱ	板垣講師	(一橋大学教授)
		法 学 概 論	4	Ⅰ	中川講師	前 期 後 期
		憲 法	2	Ⅱ	桑原講師	
◎経済学概論		4	Ⅰ	地主助教授 早見講師		
◎商業概論		4	Ⅰ	岡本教授	(一橋大学教授)	
※政治学		2	Ⅰ.Ⅱ	大平講師		
自然科学	◎数学	4	Ⅰ	武隈教授	(北海道学芸大学助教授) 後 期 (北大理学部)	
	物 理 学	4	Ⅰ	小宮講師		
	化 学	4	Ⅰ	川原教授		
	生 物 学	4	Ⅰ	向川講師		
外 国 語	◎英語 (1)	12	Ⅰ Ⅱ	(備考参照)	(外人講師) (外人講師) (北大文学部講師)	
	英語 (2)					4
	英語 (2)	4	Ⅲ.Ⅳ	久納講師		
	英文学	4	Ⅰ.Ⅱ	清水教授		
	◎独 語	8	Ⅰ Ⅱ	関 講師 フーベル講師		
	◎仏 語					8
	◎中国語	8	Ⅰ Ⅱ	川上助教授 " "		
	◎露 語					8
	◎西 語	8	Ⅰ Ⅱ	一色助教授 " "		

体 育	◎実 技	2	I	杉山 講師 須貝 講師	(非常勤講師)
	◎講 義 { 体育理論 保健 }	2 2	II II	杉山 講師 久世 講師	後期 前期(小樽協会病院医長)
専 門 科 目	◎民 法 I	4	II	木部 講師	(小樽商大短大教授)
	民 法 II	4	III	中川 講師	
	◎商 法 I	4	III	喜多 教授	
	商 法 II	4	IV	" "	
	◎統 計 学	4	II	桑原 講師	後 期
	数 理 統 計 学	4	III	竹内 助教	
	經 济 統 計 学	2	III	武限 教授	前 期
	※◎經 济 原 論	4	II	藤井 講師	前 期
	經 济 变 動 論	4	IV	地主 助教	前 期
	經 济 史 概 論	4	II	浜林 助教	
	經 济 政 策	4	III	麻田 助教	
	財 政 学	4	III	早見 講師	
	国 際 經 济 論	4	IV	麻田 助教	
	商 業 英 語	4	III	木曾 教授	
	經 济 地 理	4	II	大爺 講師	(北大経済学部助教)
	金 融 經 济 論	4	IV	阪口 助教	
	国 際 金 融 論	4	IV	" "	
	銀 行 論	4	IV	藤沢 助教	後 期
	配 給 論	4	III	岡本 教授	
	交 通 論	4	III	久木 教授	
保 險 論	4	IV	" "		
◎經 营 經 济 学	4	II	室谷 教授		
※產 業 心 理 学	4	IV	野沢 講師	(聖心女子大学)	
◎簿 記 学	4	II	久野 講師		
◎会 計 学	4	III	石河 教授		
研 究 指 導	12	III IV	{ 専門科目担当 教官 }		
専 門 科 目	※經 济 学 史	2	III	山田 講師	(一橋大学教授)
	工 業 經 济 学	4	IV	吉武 講師	
	社 会 政 策	4	IV	" "	

専 門 科 目	工 場 經 营	4	III	伊藤 助教	
	原 価 計 算	4	III	久野 講師	
教 職 に 関 す る 専 門 科 目	教 育 原 理	3	I	田中 講師	
	英 語 科 教 育 法	3	II	北村 講師	(小樽商大短大助教)
	商 業 科 教 育 法	3	II	金卷 講師	(" " 教授)
	※教 育 実 習	2	III	{ 北村 講師 金卷 講師 }	{ (" " 助教) (" " 教授)
	教 育 方 法 論	3	II	田中 講師	
特 別 講 義	世 界 文 化 史		I-IV	学 長	
	国 際 金 融 特 殊 問 題	2	III, IV	副 島 講師	前期(東京銀行札幌支店長)

備 考
(1) 表中, ◎印は必修科目を示す。
(2) 表中, ○印は選択必修科目を示す。
(3) 表中, ※印は集中講義を示す。
(4) 英語(1)の担当教官は次の通りである。
清水教授, 木曾教授, 玉井助教, 久納講師, 宇賀治講師, 北村講師 (本学短大助教), 北市講師 (本学短大講師), 野尻講師 (北大文学部助教), リー講師 (外国人講師),
英語(2), 英語学および英文学は高等学校英語科二級普通免許状取得のための必修科目であると共に一般学生の課外科目としての履修参加も認められている。

2. 学生は4年間に在学し下記各項に示すところに従い, 単位を取得することによつて卒業資格が与えられる。

(1) 一般教育科目
一般教育科目は人文科学, 社会科学, 自然科学の3系列につき, それぞれ3科目12単位以上を履修しなければならない。

なお, 社会科学系列の経済学概論, 商業概論は昭和34年度入学者以降に対しての必修科目, 自然科学系列の数学は全学生に対しての必修科目となつており, 社会科学系列の憲法(2単位)は, 高等学校(商業科および英語科)二級普通免許状を取得する学生についてのみ必修となつている。

また文学の単位は日本文学, 外国文学のうち, いずれか1科目だけが

単位修得要領一覽表 (最低所要単位数)

卒業のための所要単位数に算入されることになっている。

(2) 外国語

英語(1)は1年度、2年度の各年度毎に毎週6時間履修し、担当教官(各クラス3名)の総合成績が合格することによって、年度毎の6単位が与えられ、合計12単位を必修とする。(別表参照)

英語以外の外国語(独, 仏, 中, 西, 露の各外国語)は、何れか1ヶ国語を選択必修とし、毎週4時間、年度毎(1, 2年度)4単位宛計8単位を履修しなければならない。

(3) 体育

体育は実技2単位(1年度)、講義2単位(2年度)を必修とする。なお、講義2単位は、体育理論(2単位)、保健(2単位)の何れか一方を選択履修すればよいことになっている。

(4) 専門科目

専門科目は84単位以上(職業指導を除き)を履修しなければならない。なお、専門科目中、民法I、商法I、統計学、経済原論、経済史概論、経営経済学、簿記学および会計学各4単位は昭和34年度入学者以降に対しての必修科目となっている。

また、高等学校商業科(英語科は該当せず)二級普通免許状を取得する学生については、上記84単位の外、職業指導を必修とする。

研究指導は毎週3時間、3年度からの2ヶ年継続授業12単位(卒業論文を含む)で専門科目84単位中に含まれる。

研究指導に参加しない学生は研究指導12単位分を、他の専門科目の履修によって充足し、84単位以上を履修しなければならない。

学生は、3学年度から経済学科専攻と商業学科専攻とに分れるが、他学科専攻の特殊専門科目は卒業の単位には算入されない。従つて専門科目は各人の所属する専攻の特殊専門科目と共通専門科目について84単位以上を修得しなければならないことになる。

(5) 教職課程

商業教員養成課程の履修を条件として入学した学生は、上記の外、高等学校商業科二級普通免許状取得の資格を得ることも卒業のための条件となっているから注意を要する。

その他、単位の修得要領については、次頁の別表を参照すること。

(職業指導は35年度開講しない。)

種別	科目 区分 年度別	一般教育科目				体育			外国語						専門科目	教職に関する専門科目	合計			
		人文 科学	社会科学	自然科学	計	実技	講義	計	英語			英語以外の 外国語						計		
									英語(1) I	英語(2) II	英語学 英語学	英文学 英文学	小計	I					II	小計
A 一般学生	32年度生								4	6						18	84 (他学科専攻特殊専門科目、職業指導を除く) 84 (民法1, 商法1, 統計学, 経済原論, 経済史概論, 経営経済学, 簿記学, 会計学を必修とする。他学科専攻特殊専門科目、職業指導を除く。)		142	
	33年度生	12			36	2	2	4	6	6				4	4	8				20
	34年度生	12		12					6	6										20
	35年度生	(経済学概論 商業概論)必修		(数学必修)					6	6										20
B 商業教員養成課程(教職課程)を履修条件としての入学者	32年度生								4	6						18	88 (職業指導必修。他学科専攻の 特殊専門科目を除く。 但し35年度は開講しない。) 88 (職業指導必修(但し35年度は開講しない)、民法1, 商法1, 統計学, 経済原論, 経済史概論, 経営経済学, 簿記学, 会計学を必修とする。他学科専攻特殊専門科目を除く。)	14 教育原理 3単位 教育心理 3単位 商業科教育法 3単位 教育実習 2単位 } 必修	160	
	33年度生	12		12	36	2	2	4	6	6				4	4	8				20
	34年度生	12		(数学必修)					6	6										20
	35年度生	(経済学概論 商業概論)必修							6	6										20
C 高等学校英語科二級普通免許状取得希望者	32年度生								4	6	14	8	32			40	84 (他学科専攻特殊専門科目、 職業指導を除く。) 84 (民法1, 商法1, 統計学, 経済原論, 経済史概論, 経営経済学, 簿記学, 会計学を必修とする。他学科専攻特殊専門科目、職業指導を除く。)	14 教育原理 3単位 教育心理 3単位 英語科教育法 3単位 教育実習 2単位 } 必修	178	
	33年度生	12		12	36	2	2	4	6	6	12	8	32	4	4	8				40
	34年度生	12		(数学必修)					6	6	12	8	32							40
	35年度生	(経済学概論 商業概論)必修							6	6	12	8	32							40

- 1 表中の単位は総て最低所要単位数を示したものである。
- 2 A, B欄はそれぞれ卒業を条件とする最低所要単位数である。
- 3 教職課程以外の一般学生で、高等学校商業科二級普通免許状の取得を希望する者はB欄によればよい。
- 4 A欄該当者がC欄によって単位を修得した場合は、C欄中のA欄以外の科目の単位は卒業条件とは関係がない。
- 5 表中、「英語以外の外国語」とは独語、仏語、中国語、西語、露語を示す。(うち1科目選択必修)
- 6 一般教育科目(社会科学系列)中の経済学概論、商業概論、ならびに専門科目中の民法I、商法I、統計学、経済原論、経済史概論、経営経済学、簿記学、会計学はA, B, C各欄における「34年度生以降」に対してのみ必修となっている。
- 但し、その場合はB欄中、A欄以外の科目の単位は卒業条件とは関係がない。
- B欄該当者がC欄をも履修しようとする場合はC欄中のB欄以外の科目の単位は卒業条件とは関係がない。

II 教授要目

1. 一般教育科目

哲 学

教授 川 村 三千雄

哲学の意義を現実的人間の生より理解する。哲学の時代的思想の展開を明かにし、特に現代の思想的位置を示すことを目標にする。

倫 理 学

教授 川 村 三千雄

実践的具体的倫理の問題より学としての倫理学の成立に及ぶ。更に倫理学の問題を採り上げ世界観の形成まで進み度いと思う。

心 理 学

(未 定)

日 本 文 学

助教授 広 田 二 郎

近世詩歌の展開

1 貞門俳諧

成立と発展

地方への普及

文学精神

2 談林俳諧

大阪俳壇の興隆と文学革新運動

江戸俳壇への波及

三都を通じての談林調盛行

談林末期の動向

談林俳諧の文学精神

3 蕉風俳諧

芭蕉の誕生

貞門時代

談林調時代

俳風革新運動と中国の文学・思想

蕉風の成立と展開

芭蕉没後の蕉門

蕉風俳諧の文学精神

4 中興期俳諧

蕪村を中心として

俳諧文学の復興とその成果

5 後期俳諧

一茶を中心として

6 近世詩歌の展開と時代の文化

外国文学

教授 松尾正路

文学の本質，中世と近代の意味，18世紀から19世紀への推移と発展，19世紀作家論，20世紀の文学革命，その世界観と方法論。

日本文化史

助教授 広田二郎

1 原始社会の文化

(i) 無土器文化

(ii) 縄文式文化

2 古代社会初期の文化

(i) 弥生式土器文化

(ii) 古墳時代文化

3 律令社会の文化

(i) 大陸精神文化の輸入

(ii) 仏教と仏教芸術

(iii) 個有の精神文化 古事記，日本書紀と万葉集

4 貴族社会の文化

(i) 外国文化と個有の文化

(ii) 文芸 詩歌と物語文学

(iii) 都市と農村

5 封建社会前期の文化

(i) 武者の習

(ii) 新仏教

(iii) 貴族文化の伝統と庶民の文化

6 封建社会中期の文化

(i) 武将と豪商の美術文化

(ii) 西洋文化との接触

(iii) 封建秩序と儒教

(iv) 町人文化の発達

7 封建社会末期の文化

(i) 封建秩序の動揺

(ii) 町人文化の爛熟

(iii) 革新的社会思想と科学的精神

8 日本の近代化

法学概論

講師 中川良延

法に関する学問は大きく二つの分野に分けられる。すなわち法解釈学と法社会学である。前者は，ある法律規定はいかに解釈されねばならないか，いかえればいかなる解釈が正しいかという専ら価値判断に関するものであるが，後者は，これに対して，ある規定，法原則がなにゆえ成立し，現実にいかなる意義をもち，また機能を果しているかを主として扱うものである。しかし今日の法律学における一つの大きな問題は，法社会学で得られた成果をある範囲で法解釈学に利用できないか，ということである。いわば法解釈学と法社会学の相互関連，これを本講義の最初の部分で扱う予定である。

つぎにこの結果を応用して，私法の各分野，すなわち民法，商法，労働法等における諸原則を説明する。もちろんこれらの実体法規のみでなく，かかる規範を適用して私的紛争を解決する訴訟制度をも概観するつもりである。

教科書としては，中川善之助・木村亀二編「法学概論」(角川書店 250円)を使用する。

憲法

講師 桑原輝路

1 憲法の最高法規性

- 2 天 皇
- 3 戦争の放棄
- 4 基本的人権
- 5 国 会
- 6 内 閣
- 7 司 法
- 8 地方自治

経済学概論

前期 助教授 地主重美
後期 講師 早見弘

(前期)

Samuelson Economics (Asia Edition) Part 3 and Part 4

市場の理論, すなわち財および用役の価格決定の理論を中心に講義を進める。

受講者は予め割当てられた章節を熟読準備することが要求される。

(後期)

Paul A. Samuelson, *Economics: An Introductory Analysis* (Mc Graw-Hill Co., fourthed., Asian Students'ed., 1958) をテキストとし, 本書第1部 経済学の基礎概念と国民所得, 第2部 国民所得の決定とその変動, について講義する。予めテキストの読習を必要とする。

商業概論

教授 岡本理一

商業に関する一般的解説を行い, 以て現代商業の研究に必要な準備的, 基礎的知識をあたえることを目的とする。

- 1 商業の学問
 - (1) 学問とは何か (2) 商業学の発達
- 2 商業の起源とその発達
 - (1) 商業の発生 (2) 階段的発達 (3) 機能別発達
- 3 商業の概念
 - (1) 現代の商業学説と批判 (2) 現代商業の分類
- 4 現代商業の構造

- (1) 商業の主体 (2) 商業の形態 (3) 商業の客体
- (4) 商業の依存関係

5 配給組織

- (1) 配給の意義 (2) マーケティングについて
- (3) 配給組織 (a 集収組織 b 仲継組織 c 分散組織)

6 資本主義の発展と商業

- (1) 商業介入傾向と商業廃除傾向 (2) 協同組合と公企業による商業経営 (3) 社会主義と商業

テキストとして福田敬太郎著『商学総論』(昭和30年2月, 千倉書房刊)を使用する。

数 学

教授 武隈良一

微分積分学の講義を行う。内容次の如し。

- 1 微分法
- 2 微分法の公式
- 3 平均値の定理
- 4 積分法
- 5 指数函数と対数函数
- 6 三角函数と逆三角函数
- 7 不定積分の計算法
- 8 高次導函数
- 9 極 限 値
- 10 級 数
- 11 偏導函数
- 12 二重積分

使用テキスト

吉田洋一著『微分積分学』(培風館)

物 理 学

非常勤講師 小宮英太郎
(北海道学芸大学助教授)

化学 教授 川原 鳳 策

生物学 非常勤講師
(北海道大学理学部教官) 向 川 信 一

歴史学 非常勤講師
(東京大学教授) 大 塚 久 雄

社会科学概論 非常勤講師
(一橋大学教授) 板 垣 与 一

政治学 非常勤講師
(一橋大学教授) 大 平 善 梧

世界文化史 学 長 加 茂 儀 一

2. 外 国 語

| 英 語 教授 清 水 春 雄

特殊な心理的リアリズムの技法を編み出して現代小説の一先駆者となつた Henry James の初期の傑作 Daisy Miller を読んで、英語の表現に習熟するようにしたい。

| 英 語 教授 木 曾 栄 作

作文力と会話力の涵養を主眼として講義と演習を進めていくこととする。従つて口頭練習を重視して、英語の表現力を出来るだけ養成するように授業を進め、同時に日英両語のコントラストに注意を向けるように努める。

| 英 語 助教授 玉 井 武

Hearn : Insect Musicians and Other Stories and Sketches
自習用テキスト The Idea of man

| 英 語 講 師 久 納 泰 之

E. A. Poe : The Fall of the House of Usher & The murders in the Rue morgue (南雲堂)

| 英 語 講 師 宇 賀 治 正 朋

O. Henry : After Twenty Years & Other Tales (研究社)

| 英 語 非常勤講師
(小樽商大短期大学部講師) 北 市 陽 一

| 英 語 非常勤講師
(北海道大学文学部助教授) 野 尻 吉 之 進

I 英語 外国人講師 R. キース・リー

II 英語 教授 清水 春雄

20世紀英文学を代表する作家の一人、John Galsworthy の短篇集 Caravan から二三の作品を選び、現代イギリスの社会問題に反応するヒューマニズムを窺いながら、そのすぐれた英文を通じて英語力の涵養に資したい。

II 英語 教授 木曾 栄作

英文の読解力を養成することに重点をおくが、同時に作文力の涵養をも併せて留意することとし、教材は思想的か経済学的なものを選択する。

II 英語 助教授 玉井 武

Hudson : Sketches and Essays from W. H. Hudson
自習用テキスト The Idea of man

II 英語 講師 久納 泰之

E. Hemingway : A Farewell to Arms (雪溪書房)

II 英語 講師 宇賀治 正朋

S. Anderson : Winesbury, Ohio (研究社)

II 英語 非常勤講師
(小樽商大短期大学部講師) 北 市 陽 一

II 英語 非常勤講師
(北海道大学文学部助教授) 野 尻 吉之進

II 英語 外国人講師 R. キース・リー

英語 (2) 非常勤講師 北 村 正 司
(小樽商大短期大学部助教授)

英語 (2) 講師 久納 泰之

V. Woolf : To the Lighthouse (南雲堂)

英 文 学 教授 清水 春雄

イギリス文学の伝統構成にあずかつて力のあつた要因を追求することにした。具体的には主要な作品の理解、鑑賞、批判への手引を与えると共に、個々の作品と時代思潮との関連を明かにしてゆくのであるが、このようにしてイギリス国民の生活と思想についての理解を深めたいと思う。

I 独 語 講師 関 徹 雄

文法書に読本を併用。形式文法に内容上の興味を喚起するためである。
使用テキスト

小野寺和夫 初等ドイツ文法 (南江堂版)
橋本文夫 初等ドイツ語読本 (郁文堂版)

II 独 語 講師 関 徹 雄

作品講読に集中、昨年度相当高度の文法書を学んでいるので、これを実際に生かしたい。作品は主としてロマン派後期から近代小説成立にいたる過渡期にあたるものを選び、作品を通じてドイツ精神史における近代の意義を考えてみたい。

使用テキスト

M. フニウス 帰郷 (昨年度よりの続講)
ヘツベル、ケラー、シュテイフター、三人集 (同学社版)
(その他随時選択)
橋本文夫 ドイツ語作文教材 (郁文堂版)

課外 (三年度以上対象)

学生の希望により昨年度読みかけた「基本経済論文集」(郁文堂版)を続けたい。

Ⅱ 独 語

外国人講師 アロイズ・ゲルハルド・フーベル

Ⅰ 仏 語

教授 松尾正路

発音, 文法, 和文仏訳, 訳読。発音と会話は外人教師の直接法によつておこなう。

Ⅰ 仏 語

非常勤講師
(北海道大学文学部講師) 大黒マチルド

Ⅱ 仏 語

教授 松尾正路

訳読を主とする。会話, 書取, 発音は外人教師が担当する。

Ⅱ 仏 語

非常勤講師
(北海道大学文学部講師) 大黒マチルド

Ⅰ 中 国 語

助教授 川上久寿

新しい中国語教本, 基礎編 (光生館)

Ⅱ 中 国 語

助教授 川上久寿

- (1) 新しい中国語教本, 読本編 (光生館)
- (2) 書取り (耳で聞いてわかるようにするため)

Ⅰ 露 語

講師 松本忠司

テキスト

- 1 東郷正延著 簡約ロシア語文法
- 2 露語会話教程 (レコード併用)
- 3 ゴーリキイ「イゼルギリ婆さん」

Ⅱ 露 語

講師 松本忠司

テキスト

- 1 チェーホフ「ヨヌイチ・桜の園」
- 2 パンコフ編「ロシア経済思想史」の抜萃

Ⅰ 西 語

助教授 一色忠良

使用教科書は近松洋男著「実用スペイン語文法」とし, 講読にはプリントで補つてゆく。

Ⅱ 西 語

助教授 一色忠良

今学年度は Antonio J. Onieva の Cien Figuras Espanolas (Serie II) と笠井鎮夫編著「新選スペイン語商業通信」を併用してゆきたい。

3. 体 育

体育実技

講 師 杉 山 登

体育実技内容

1) 運動能力測定

垂直とび，連続片足とび，体前屈，サイド・ステップの測定を5月と11月に行う。

2) 実 技

a) 軟式野球，軟式庭球，排球，羽球，ソフトボール，柔道，卓球。

以上の種目について4月より7月迄と9月より12月迄の2期間に分け，各期間において1種目各々自由選択するものとする。雨天の場合は卓球，羽球のいずれかを1期間に履修し，2期間を通して両種目履修するものとする。

b) スキ ー

冬季間は本学の地理的特殊性からして，スキーを実施し，全員参加し履修するものとする。又毎週放課後2回程度の練習会を開く。

体育実技

非常勤講師 須 貝 忠 吉

体育講義（体育理論）

講 師 杉 山 登

体育講義内容

1) 体育の概念と課題

2) 運動生理学

a) 身体的全機性と相関について

b) 運動生理学の課題

3) 体育運動と骨格

4) 体育運動と血液

5) 体育運動と血液循環

6) 体育運動と呼吸機能

7) 体育運動と筋肉

8) 疲労について

時間的關係から主として必要な事項のみをとりあげ，身体と運動との關係を運動生理学的立場から考察して行きたい。

体育講義（保健）

非常勤講師 久 世 彰 彦
(小樽協会病院内科医長)

4. 専門科目

民法 I

非常勤講師 木部 林 二
(小樽商大短期大学部教授)

民法 II

講師 中川 良 延

債権総論と債権各論を対象とする。教科書として、我妻栄・有泉亨「民法 II」(一粒社 300円)を使用。

商法 I

教授 喜 多 了 祐

商法 II

教授 喜 多 了 祐

国際法

講師 桑 原 輝 路

前半は、国際法の内容、国際法の法源、国際法と国内法との関係、国際法の主体、国家の成立・承認・存続・消滅、国家の国際法的地位、国家結合等、国際法の基礎理論を行い、後半において、本年度は条約法の考察を行う予定。

統計学

助教授 竹 内 清

記述統計と推測統計の基本ならびに経済統計は前者より幾分程度の高い水準で講義をする。

使用テキスト

森田優三編 新経済学演習講座『統計学 1959』

経済原論

講師 藤 井 栄 一

経済理論を微視的分析と巨視的分析に大別し、それぞれ、および、両者の

関係について、順次講義する。必要な文献および参照すべき論文その他は別にプリントして配布する。経済概論を履修してある方が望ましいけれども、できるだけ予備的な知識を必要としないような型で話を進める予定である。

なお、全般を通じて必要とされる文献は次の如くである。

Hicks, J. R., Value and Capital (価値と資本, I, II)

Hicks, J. R., Demand Theory (需要理論)

Samuelson, P. A., Economics

Baumol, W. J., Economic Dynamics (経済動学序説)

Stigler, G. J. (ed.) Readings in Price Theory

古谷弘, 現代経済学

経済セミナー, 1958, No. 17, (臨時増刊) 現代経済理論入門

経済変動論

助教授 地 主 重 美

本年度の講義は経済成長および経済開発に重点をおく。長期の経済変動を扱う。およその目次次の通り。

1 経済成長の一般理論

古典派, マルクス派, 近代派の基本, モデルの紹介

2 歴史的展望

3 後進地開発の理論

一般理論及び各種部分理論, 雇用理論

4 その政策

成長の厚生経済学。 Primrose Path

参考書 ロストウ著・酒井訳 経済成長の過程

A. Lewis ; The Theory of Economic Growth

Harrod ; Towards a Dynamic Economics

(参考書購入については指示あるまで購入しないこと。)

経済史概論

助教授 浜 林 正 夫

[I] 封建社会の構造

(1) マナ制度

(2) ギルド制度

(3) 封建国家

〔Ⅱ〕 封建社会の解体

- (1) 農奴制の崩壊
- (2) ギルドの変質と農村工業
- (3) 前期的商業資本
- (4) 絶対主義

〔Ⅲ〕 市民革命

- (1) 政治過程
- (2) 経済構造

〔Ⅳ〕 本源的蓄積と産業革命

- (1) 本源的蓄積
- (2) 産業革命
- (3) 労働運動のはじまり

(テキストは使用しない。参考書はそのつど指示する)

経済政策

助教授 麻田 四郎

前期、後期の二期に区分して次の二つのテーマについて論述する。

(前期) 「厚生経済学の諸問題」

厚生経済学の展開過程を展望しながら、経済政策目的の設定に関する問題を理論的に考察する。

(後期) 「後進国の経済開発に関する諸問題」

経済開発を政策目的とした場合の政策実施上の諸問題を理論的に考察する。講義の底本として A. O. Hirschman, The Strategy of Economic Development, 1958 を使用する。

国際金融論

助教授 阪口 伸六郎

第一章 国際金本位制度

第二章 国際金融における金

第三章 外国為替理論

第四章 国際通貨論

第五章 国際収支

第六章 ヨーロッパ支払同盟と国際通貨基金

第七章 世界銀行

第八章 外国為替の自由化

第九章 世界経済と国際金融

第十章 国際金融と国内金融との統一

経済地理

非常勤講師 大 爺 栄 一
(北海道大学経済学部助教授)

社会政策

講 師 吉 武 清 彦

第一編 総 論

- I 労働問題
- II 労働をめぐる諸科学
- III 社会政策の本質
- IV 社会政策と社会思想

第二編 各 論

- I 賃金論
賃金形態——賃金本質論——最低賃金制
- II 労働組合論
労働組合の本質——労働組合の組織と運営——労働組合の機能
- III 労資関係論
団体交渉——労資協議制度——争議と争議の調停
- IV 労働市場論
労働市場の展開——日本労働市場の特質
- V 社会保障
社会保障の本質——イギリス社会保障——日本の社会保障
- VI 国際的社会政策
- VII 労働運動
世界の労働運動——日本の労働運動

参考文献

大河内一男『社会政策』(昭32・青林書院)

風早八十二『日本社会政策史』(昭12・日本評論社)

平田隆夫『社会政策概論』（昭30・三和書房）
大河内一男『社会政策』（総論・各論2冊，有斐閣）

財政学

講師 早見 弘

Richard A. Musgrave, *The Theory of Public Finance: A Study in Public Economy*. (New York: Mc Graw-Hill Co., 1959) を講義のテーマとする。

その順序はつぎの通りである。

- 第一部 問題の展開
- 第二部 公共欲望の充足
- 第三部 予算政策への調整
- 第四部 補正的財政

各部の参考文献についてはその都度指示する。

国際経済論

助教授 麻田 四郎

昨年度の講義順序を踏襲するが，本年度は特に後半に重点を置く予定。

- 1 比較生産費の理論
- 2 国際価値論
- 3 交易条件
- 4 外国為替，為替相場，為替市場の安定性
- 5 貿易乗数の理論
- 6 国内均衡と国際均衡
- 7 国際経済協力機構
- 8 経済発展と外国貿易（動態的貿易理論の問題）

テキスト

小島清著 外国貿易・新版 昭32 春秋社
藤井茂訳 ハロッド 国際経済学・改訂版 昭33 実業之日本社

商業英語

教授 木曾 栄作

商業英語の特質を序説的に述べて，基本構文の研究に進み高度な商業英語

表現の研究を目標とするが，同時に貿易経営の概説を行うこととする。

テキスト

木曾栄作著 商業英語活用辞典（増補版）三省堂
木曾栄作著 貿易経営要論（改訂増補版）国元書房

金融経済論

助教授 阪口 伸六郎

- 第一章 産業的流通と金融的流通
- 第二章 通貨と貨幣価値
- 第三章 銀行貨幣の創造
- 第四章 銀行の流動性
- 第五章 金融市場と証券市場
- 第六章 景気観測と貨幣分析
- 第七章 金融政策
- 第八章 国内金融と国際金融

銀行論

助教授 藤沢 正也

現代資本主義における銀行組織の役割を経済学的に究明する。

I 金融業務

- a 商業銀行の資本構成（銀行の Liquidity Position）
- b 商業銀行の経営収支（銀行の Earning Capacity）
- c 商業銀行経営の近代化（イギリスの歴史的経過と現代の国際的な Pattern）

II 金融市場

- a 金融市場の構成要因（商業銀行とその他の金融機関の競合関係）
- b 短期金融市場のメカニズム
- c 長期金融市場のメカニズム

III 金融政策

- a 金融調整
- b 公開市場操作
- c 支払準備操作
- d Fiscal policy

e 直接統制

IV 金融界当面の問題点（金融正常化の現代的意義）

主たる参考文献：R. C. Sayers, Modern Banking, 1959.

E. J. Bregel, Banken und Kredit, 1957.

Committee on the Working of the Monetary System, Report, 1959.

配給論

教授 岡本理一

マーケティングを中心として講述するが、とくに今年は、マーケティング・マネジメントに重点をおく。なお協同組合、中小企業問題にも関説する。

- 1 マーケティングの概念
- 2 配給組織の合理化
 - (1) 配給組織の合理化と計画化
 - (2) 計画配給について
- 3 販売経営
 - (1) 販売経営の管理
 - (2) 販売計画
 - (3) 販売予算
- 4 市場調査
 - (1) 市場調査の意義
 - (2) 市場調査の方法
 - (3) 販売割当
- 5 売価政策
 - (1) 売価決定の意義
 - (2) 売価決定の方法
- 6 広告と宣伝
 - (1) 広告の意義
 - (2) 広告効果の測定
 - (3) P・Rとマス・コミュニケーション
- 7 商品取引所
 - (1) 商品取引所の意義
 - (2) 商品取引所の業務
 - (3) 商品取引所政策
- 8 中小企業問題
 - (1) 中小企業の特質
 - (2) 中小企業の経営合理化
- 9 協同組合
 - (1) 協同組合の意義
 - (2) 協同組合の配給事業
- 10 社会化配給について
 - (1) 社会化と配給組織
 - (2) 社会主義国の配給組織

保険論

教授 久木久一

- 1 保険の生成発展
- 2 保険の本質
- 3 保険類似の施設
- 4 保険の技術的基礎
- 5 保険可能の限界
- 6 保険の組織
- 7 保険の形態——保険の種類
- 8 保険料
- 9 保険資産とその運用
- 10 保険事業収益の源泉
- 11 保険事業の監督

交通論

教授 久木久一

本年度は海運論を講述する。

- 1 海運の意義
- 2 海運市場
- 3 船舶
- 4 海運業者
- 5 船員
- 6 海運の経営
- 7 海運同盟
- 8 運送契約
- 9 海上運送人の責任と負責特約
- 10 用船契約
- 11 船荷証券

経営経済学

教授 室谷賢治郎

- I 序説（研究の対象と方法）
- II 企業と経営者

- III 企業形態
- IV 経営管理
- V 経営労務
- VI 経営財務
- VII 利益管理

産業心理学

非常勤講師 野 沢 辰

集中講義ですから産業心理学全般にわたることは困難です。それで最初に概観を行い、主題を産業に於ける **motivation** の問題に限りたいと思います。焦点は集団の内の個人、集団の **morale** 等に置きます。

- I 序 論
 - a) 産業心理学の歴史
 - b) 産業心理学の分野
- II 本 論
 - a) **motivation** の意味
 - b) **motivation research**
 - c) **group morale**
 - d) **leadership**
 - e) **social conflict**
 - f) **human relations**
- III 産業心理学の意義

簿記学

講 師 久 野 光 朗

大学における簿記の学習は、単に小手先の技術の修得に終つてはならない。それは広義の会計理論に結びついた一分野でなければならない。従つて慣行的な簿記の講義を超えて、会计学概論的な匂いのする講義をしたい考えである。

しかしながら、必要不可欠な最低限の基礎的技術の修得がなければ、理論への道も遠いのであるから、基本的な原理は徹底的に指導する予定であり、場合によつては“手で学ぶ” (**learning by doing**) ことも必要となろう。

講義の大綱は、教科書的に羅列すれば、下記の如くになるが、そのうち

で特に原理的な貸借理論と勘定理論に重点をおいてゆく考えである。

- §1 総 論
- §2 貸借理論
- §3 勘定理論
- §4 帳簿組織論
- §5 財務諸表論序説

テキストは下記のものを使用する。

石河英夫教授：「商業簿記要論」

なお、時間を節約して能率の向上を計る為に適時アサイメントを決めたり、実力を養成する為に数多くのテストを併用していく方針である。

原価計算

講 師 久 野 光 朗

講義体系を教科書的に羅列すると下記の如くなるかと思ひます。

- §1 総 論 (原価計算の意義と目的、原価概念、原価の分類、原価計算の分類、財務会計との関係、etc.)
- §2 原価要素論 (材料費会計、労務費会計、経費会計)
- §3 原価集計論 (個別原価計算、総合原価計算)
- §4 原価管理論 (標準原価計算、原価分析)
- §5 特殊原価調査 (利益管理、直接原価計算、その他、経営方針の決定に役立つ原価計算)

上記の項目に対して、§1 総論は例年通りに行い、§2 原価要素論は特に材料費会計を中心に行い、§3 原価集計論は計算手続の原理的指導にとどめる予定です。この§1から§3までやるだけでも、綿密にやれば一年を要するので、参考書を前以て読んで貰つたり、アサイメントを決めたりして成可く時間の節約による能率の向上を計り、例年充分に指導出来なかつた原価管理論にまで進む予定です。

終りに、テキストは別に指定致しませんが、次週の講義のテーマを前の時間に知らせますから、講義を聞いて理解出来るだけの予備知識が備つていようように心掛けて頂きたい。

数理統計学

教 授 武 隈 良 一

確率論を一通り述べ、これを基礎として近代推計学を講義する。

I 確率論

- 1 確率の概念
- 2 確率の性質
- 3 多重試行
- 4 確率変数
- 5 マルコフ連鎖
- 6 ボレル型の確率空間

II 近代推計学

- 1 統計的推論の基礎概念
- 2 精密標本理論
- 3 統計的仮説の検定
- 4 統計的推定
- 5 応用
 - (a) 抜取検査
 - (b) 品質管理
 - (c) 実験計画法
 - (d) 統計的決定函数
 - (e) 情報理論

使用テキスト

- I 赤 撰也『確率論入門』(培風館)
- II (未定)

経済統計学

助教授 竹内 清

managerial Economics の観点から特に decision-making under uncertainty の問題を取扱うことにする。

講義は I. D. J. Bross, Design for Decision, 1953 (翻訳は4月下旬ないし5月中には出る予定)を中心とし

R. Schlaifer, Probability and Statistics for
Business Decisions, 1959

M. H. Spencer & L. Siegelman, Managerial Economics, 1959
を適宜参考にする予定。

会 計 学

教授 石河 英夫

- 第一章 会計学の概念
- 第二章 企業会計の本質
- 第三章 企業会計の機能
- 第四章 会計学説の展開
- 第五章 企業会計の基礎的前提
- 第六章 企業会計原則
- 第七章 資産会計
- 第八章 資本会計
- 第九章 剰余金会計
- 第十章 損益計算
- 第十一章 棚卸資産の評価
- 第十二章 減価償却

工業経済学

講師 吉武 清彦

今年の工業経済学は『日本工業論』に重点を置いて講義を進めたい。

I 総論

- a 工業と技術
- b 工業経営組織の発展
- c 独占論——カルテル・トラスト・コンツェルン
- d 独占対策
- e 中小工業論
- f 工業金融論
- g 工業立地論
- h 工業化の意義
- i 国有化論

II 明治維新以後の日本工業の発展

- a 明治維新と工業化
- b 日清戦争後の軽工業の確立
- c 日露戦争後の重工業の確立
- d 第一次大戦後の重・化学工業の進展

e 昭和恐慌と産業軍事化及び産業合理化

III 戦後の回復と発展

a 敗戦と傾斜生産

b 朝鮮動乱による工業生産の拡大

c 生産力拡大と近代化投資

d 技術革新の進展

参考文献 有沢広巳編集『現代日本産業講座』（岩波書店）全Ⅷ巻。特に第Ⅰ及び第Ⅷ巻

W. W. ロックウッド『日本の経済発展』（上下二巻）
（東洋経済新報社）

工場経営

助教授 伊藤 森右衛門

経済学史

非常勤講師
（一橋大学教授） 山田 雄三

国際金融特殊問題

非常勤講師
（東京銀行札幌支店長） 副島 呉郎

5. 教職に関する専門科目

教育原理

講師 田中 昭徳

英語科教育法

非常勤講師
（小樽商大短期大学部助教授） 北村 正司

商業科教育法

非常勤講師
（小樽商大短期大学部教授） 金巻 賢字

この科目は「教職課程」の必修科目である。なるべく3年目以前に履修することが望ましい。3単位科目であるから4—11月までの期間に講義が行われる。授業要目は次の通りである。

第1章 商業教育の沿革

第1節 欧米における商業教育

第2節 わが国における商業教育

第3節 商業教育の現状と問題点

第2章 教育課程

第1節 商業教育の性格と目標

第2節 商業科目の分類

第3節 商業課程の構成

第3章 学習指導法

第1節 商業科と単元学習

第2節 商業諸科目と単元学習

第3節 教師論

主として講述による。ノートを用意されたい。参考書などは講義の際に示す。

教育実習

英語科

非常勤講師
（小樽商大短期大学部助教授） 北村 正司

商業科

非常勤講師 金 卷 賢 守
(小樽商大短期大学部教授)

これは「教職課程」を履修する者の必修科目である。したがってなるべく3年目またはそれ以前の学年において履修することが望ましい。毎年10月に「緑陵高等学校」を実習校として行われる。開催の日時などは9月中頃本学と実習校との間で打合せの上、決定される。同時に英語科も同校で教実習が行われる筈である。実習期間は概ね3週間である。実習の開始当初この科目の指導を担当する本学教官および学生課職員より諸般の心得について指導がなされる。その後、実習校の校長、関係教職員などの講話がある。実習段階にはいつてからは、すべて実習校側の計画と監督の下に行われ、実習の前半は、主として「商業一般」と「簿記」などの授業見学であり、の間に実習校側の指導をうけて教案の作成に当る。後半はその教案によつて少くも1回以上、教壇実習を行わなければならない。実習が終ると学習状況の報告書が実習校の校長より本学へ廻付されてくるので、それにもとづいて本学の指導教官が成績の評定を行う。

教育方法論

講 師 田 中 昭 徳